

2012年2月4日 第17回勉強会のご案内

「日本の国民皆保険－過去・現在・未来－」

患者の声を医療政策に反映させるあり方協議会

1961年(昭和36年)に始まった日本の国民皆保険制度は世界に冠たる公的医療制度として定着し、2011年に創設50周年を迎えました。しかし、近年は制度のほころびが目立ち、超高齢社会の到来に伴う医療費の増加などで、大きな転換期に来ていると言われます。

今回は、この問題の第一人者である政策研究大学院大学の島崎謙治教授を講師にお迎えし、表記のテーマで講演していただきます。今後も皆保険制度を維持できるのか、維持する場合の負担増について国民的合意が得られるのかなど、じっくり考えてみたいと思います。

皆保険制度の先行きは患者本人はもちろん、支払い側や医療側にとっても重大な国民全員の問題です。質疑応答の時間も十分取りますので、奮ってご参加ください。

**島崎謙治氏 政策研究大学院大学教授**

1978年東大教養学部卒業。旧厚生省入省。千葉大法経学部助教授、厚生労働省保険局保険課長、国立社会保障・人口問題研究所副所長などを経て、2007年から現職。東大大学院法学政治学研究科グローバルCOEプログラム特任教授兼務。

『日本の医療－制度と政策』(東大出版会、11年)、共編著『在宅医療の展望』(中央法規出版、08年)、共著『社会保障財源の制度分析』(東大出版会、09年)など著書多数。



■プログラム

1. あいさつ:長谷川三枝子・当協議会代表世話人
2. 講演:島崎謙治さん(政策研究大学院大学教授)  
テーマ「日本の国民皆保険－過去・現在・未来－」
3. パネルディスカッション:司会:埴岡健一・当協議会世話人  
パネラー:島崎さん他

■日時 : 2012年2月4日(土)13:30~16:00

■会場 : 全社連研修センター 3階会議室(地図参照)

■参加費 : 資料代として会員・賛助会員 500 円、一般参加 1000 円  
(当日、受付でお支払ください)

■参加申込 : 添付の申込用紙にFAXもしくはメールで、なるべく1月 27 日(金)までにお申し込みください。

**全社連研修センター :**

東京都港区高輪 3-22-12

- ◆JR品川駅 高輪口より徒歩 7 分。
- ◆品川駅から第一京浜(国道 15 号)を約 350 メートル北上。  
「タマホーム」脇の細い道を左折すると奥の右手に研修センターの建物が見えます。



## 第 17 回勉強会 参加申し込み用紙

FAX 03-3445-5099

メール kanjanokoe@gmail.com

患者の声・協議会の第 17 回勉強会に参加を申し込みます

団体名: \_\_\_\_\_

—

ご芳名: \_\_\_\_\_

役 職: \_\_\_\_\_

会員種別: 正会員 個人賛助会員 団体賛助会員 一般